



Information3

愛するペットが体調を崩すことがあると思います。

今回は嘔吐や下痢の原因でもある**膵炎**についてお話します。



まず初めに膵炎とは？



膵臓は消化酵素を分泌したり、血糖値を調節する臓器で、外分泌と内分泌の二大機能を担っている重要な臓器です。

膵炎は、膵臓が自らつくり出した外分泌の消化酵素液が誤って膵臓内で活性化することで膵臓自体を消化してしまい、炎症や壊死を引き起こす疾患であると考えられます。

膵炎には人間と同じで動物にも<急性膵炎>と<慢性膵炎>があります。



膵炎の原因



- ・肥満、高脂血症
- ・高脂肪食や食べなれてない食事の摂取
- ・交通事故や落下などで腹部を強打することによる外傷、手術による影響
- ・薬物中毒
- ・副腎皮質機能亢進症、糖尿病、甲状腺機能低下症などの内分泌疾患
- ・肝炎、十二指腸炎、伝染性腹膜炎などの感染症など

しかし実際の臨床現場では、明らかな原因を特定できないことが多いです・・・



膵炎の主な症状



食欲不振、活動性の低下、嘔吐、流涎、下痢、腹痛、衰弱などがみられます。

犬では急性膵炎が多く嘔吐や下痢、腹痛などの症状が現れやすいとされています。

一方、**猫の膵炎のうち約9割は慢性膵炎**だと言われており、慢性膵炎は嘔吐の症状が認められることは少なく、食欲不振や活動性の低下などの症状が多いです。黄疸や体重低下がみられる場合もあります。

膵炎を診断するうえで**身体検査・血液検査は非常に重要**です。

必要に応じて糞便検査、腹部超音波検査、X線検査、組織生検・病理組織学的検査を行います。

治療方法

- ・点滴を実施し全身と局所の循環を改善させる。
 - ・制吐薬や鎮痛薬を使用する。
 - ・低脂肪食や消化酵素のサプリメントを与える。など
- 重症例の場合は原則的に入院治療になりますが、軽症では通院治療で経過を観察することもあります。



犬や猫の膵炎は、重症化すると命にもかかわる怖い病気です。日頃から栄養バランスの良い食事や肥満を予防するために適度な運動を心がけ、定期的に健康診断を受けて**早期発見、早期治療**につなげましょう。

愛するペットに気になることや不安なことがありましたら、

いつでもご相談ください。

